

**J.P.モルガン、株式および株式デリバティブ部門の統括責任者 2 名を採用
- アジア地域における株式業務をさらに強化 -**

2011 年 6 月 10 日、香港/東京 — J.P.モルガンは本日、内藤^{ないとうかずま}一真を、JP モルガン・セキュリティーズ・アジアパシフィックのアジア株式デリバティブズ・グループ(EDG)のセールスおよびマーケティングの統括責任者に、さらに、岸本^{きしもとけん}謙を JP モルガン証券株式会社の株式トレーディングの統括責任者に起用したことを発表しました。

内藤は香港を拠点とし、アジア地域のデリバティブ・セールスおよび仕組み商品のマーケティングを含む、アジア太平洋地域における EDG セールスおよびマーケティング業務を統括します。内藤は、アジア太平洋地域担当株式ディストリビューションの統括責任者であるマーク・ジャスト (Mark Justh) およびアジア太平洋地域担当株式デリバティブズ・グループ統括責任者のウィリアム・リー (William Lee) の下、職務にあたります。

一方、岸本は東京を拠点とし、ウィリアム・リー、ならびに日本株式およびアジア地域担当エレクトロニック・トレーディング・ソリューションズの統括責任者であるマイケル・グリーン (Michael Green) の下、現物株および株式デリバティブズを含む、日本における J.P.モルガンの株式トレーディング業務全体を率います。

この度の人事について、ウィリアム・リーは次のように述べています。「当社は、アジア太平洋地域における市場シェアの拡大および多大な成長の機会を獲得し、事業の拡大を加速させているこの時期に、内藤および岸本という優秀な人材を迎えたことを嬉しく思います。豊富な経験を有する両氏の採用により、株式および株式デリバティブズ部門の体制が一層強化されます。今後は、関連部署と緊密に連携をとり、商品およびサービスの質と一貫性をさらに向上させてくれるものと期待しています」。

J.P.モルガンは、株式および株式デリバティブズ業務において主要なアジア市場をリードしており、業界標準となる先駆的な金融商品を提供し、優れた実績を有しています。「今回の人事は、アジア太平洋地域における最も優れた金融機関の一つとして、今後も他社との差別化を図っていくという、当社の強い姿勢の表れといえるでしょう」、とリーは付け加えています。

内藤および岸本の両氏は、J.P.モルガンのアジア太平洋地域 EDG マネジメント・コミティーのメンバーとなります。内藤はゴールドマン・サックスから、岸本はモルガン・スタンレーからの移籍で、ともに今月初めより J.P.モルガンで勤務しております。

お問い合わせ:

J.P.モルガン コーポレートコミュニケーション 長谷川さち子 (03)6736-3222

略歴

内藤 一真(ないとう かずま)

J.P.モルガンに入社する直前は、ゴールドマン・サックスの香港、ロンドンおよび東京で 15 年間勤務。直近では、マネージング・ディレクターとして、日本を除く汎アジア市場の株式デリバティブ・セールスを担当。それ以前は、ロンドンを拠点とし、ヨーロッパおよび米国のヘッジファンドおよび機関投資家向けに、汎ヨーロッパおよび汎アジア市場の株式デリバティブ・セールスの責務を担う。

岸本 謙(きしもと けん)

J.P.モルガンに入社する直前は、モルガン・スタンレーの東京オフィスにおいて、トレーディング、セールス、組成を含む株式デリバティブ業務を統括していた。それ以前は、シカゴのシタデル・インベストメント・グループに勤務。また、ゴールドマン・サックスのニューヨークおよび東京オフィスにおいて、広範囲にわたる株式デリバティブズ・トレーディング業務に従事した。

JP モルガン・チェースについて

JP モルガン・チェース・アンド・カンパニー(NYSE: JPM)は、世界 60 カ国以上に拠点をもち、総資産 2.2 兆ドルを有する世界有数の金融サービス会社です。投資銀行業務、個人向け金融サービス、中小企業向け銀行業務、コマーシャル・バンキング業務、金融取引管理事務業務、資産運用業務、プライベート・エクイティ業務において業界をリードしています。JP モルガン・チェースは、ダウ・ジョーンズ工業株平均の構成銘柄として採用されており、法人向けの「J.P. モルガン」、および個人向けの「チェース」のブランドの下で、世界有数の事業法人・機関投資家・政府機関、並びに米国の個人のお客様に金融サービスを提供しています。JP モルガン・チェースの情報は www.jpmorganchase.comにてご覧いただけます。